

北九州市の受入条件の対応方針1（処理の安全性確保）

受入条件	対応方針
<p>(1) 処理の安全性確保に万全を期すこと</p> <p>① 安全操業のための運用の徹底、安全かつ確実な処理の担保のための監視指導の強化</p> <p>② 設備・機器の確実な更新・補修</p> <p>③ 北九州市内の運搬時の安全対策の堅持</p> <p>④ 運搬事業者に対する北九州市内の輸送規制の遵守の周知徹底</p> <p>⑤ 安全な輸送路を維持・確保するために必要な措置の確実な実施</p> <p>⑥ 自然災害に関する最新の知見を踏まえた災害対策の見直し、必要に応じた対策強化</p> <p>(2) 万が一、PCBの外部漏洩、健康被害等の重大な事故が発生した場合、その後の操業の是非について北九州市と協議するとともに、必要な措置を迅速に実施すること</p>	<ul style="list-style-type: none">・環境省としてJESCOへの立入検査を毎月実施する等により安全対策が実効性のあるものとなるようJESCOへの指導・監督を行います。・JESCOにおいて長期保全計画等に基づく設備・機器の更新・補修を実施し、環境省が必要な予算を措置します。・追加的な安全対策として、今年4月から施設を停止させ、機器や配管等の点検及び補修を行っています。環境省も立入検査を強化する等、安全性の確保に万全を期します。・安全性が確保できていることを確実に確認した上で、処理を再開させます。・輸送路や自然災害対策等、その他の安全性確保についても、これまでの操業で培った知見等を踏まえ、着実に実施します。

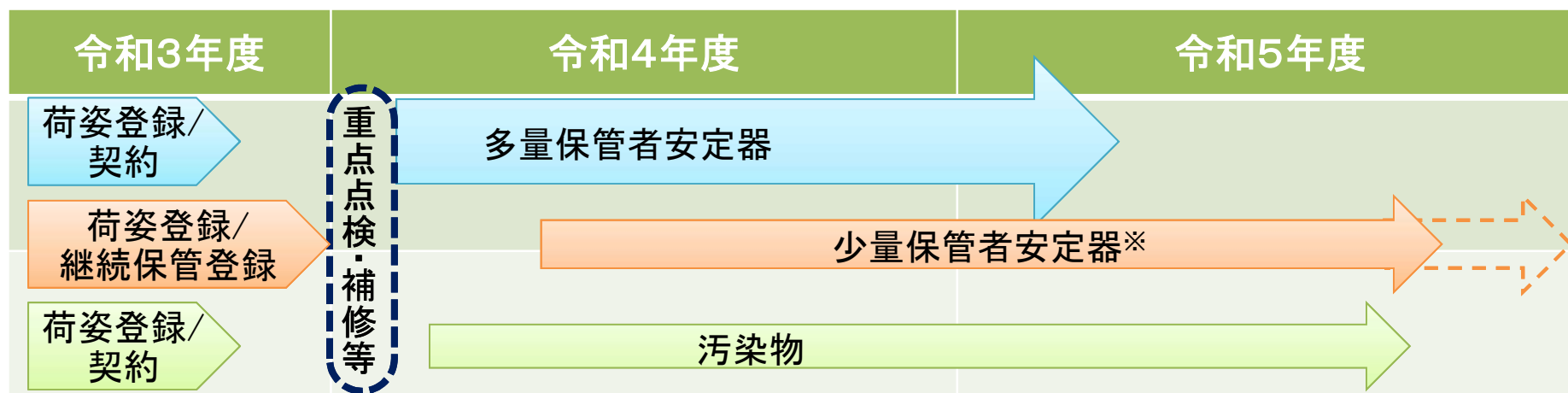
北九州市の受入条件の対応方針2（期限内での確実な処理）

受入条件	対応方針
<p>(1) 安定器等・汚染物の処理を令和5年度末までの期間内で一日でも早く処理完了させるため、関係者が総力を挙げて取り組むとともに、定期的な進捗管理を行って担保すること</p> <p>(2) 技術・運用上の改善、トラブルによる稼働停止の防止</p> <p>(3) 関係者の連携体制の構築、各地域における未処理機器の把握や事業者に対する確認・指導の徹底等を徹底し、計画的処理に努めること</p> <p>(4) 令和6年度以降北九州事業所で操業を行わないこと</p> <p>(5) 万一の不測の事態に備え、令和6年度以降の北九州事業所以外の対策をあらかじめ検討しておくこと</p>	<ul style="list-style-type: none">・今後の北九州事業所の処理対象量や処理能力等を踏まえ、令和4年度以降の処理の見通しを立てた結果、今後の掘り起こし見込み量を考慮しても、5年度末までに処理を完了できると見込んでいますが、関係自治体とも連携して、JESCOへの処分委託状況等の進捗管理を定期的を実施することにより、令和5年度末までに確実に処理を完了させ、再々延長は致しません。・PCB処理事業を着実に進めるべく、令和6年度以降の対策を含め、今後の処理体制の整備についてしっかりと検討を進めてまいります。

北九州市の受入条件の対応方針3(地域の理解の促進)

受入条件	対応方針
<p>(1) 地域への積極的な情報公開、リスクコミュニケーションの徹底、地域との交流</p> <p>(2) 地元企業、人材の最大限の活用</p> <p>(3) 北九州市の技術、人材、ノウハウ、仕組み等の他地域への水平展開、世界の有害物質のリスク管理にも貢献するための取組の推進</p> <p>(4) PCB処理事業が地元の理解と協力の下に成り立っていることを国及び関係者が的確に認識し、理解・協力を促すための取り組みを推進すること</p> <p>① 若松区を中心とした地域振興策について、必要な措置を講じること</p> <p>② 事業終了後の建物や跡地の有効利用を通じた地域の経済振興に向けた北九州市の取り組みを支援すること</p> <p>(5) 北九州市のSDGs未来都市としての取組が更に発展・展開するよう密接な連携を図ること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報公開を徹底するとともに、引き続き地域への定期的な事業報告や施設見学の実施、事業所だよりの発行、地域との交流に取り組みます。 ・運転作業の委託や工事・修理点検等において、地元の企業や人材を活用します。 ・北九州事業の技術、ノウハウを他地域事業へ展開します。 ・PCB処理に関する知見等を取りまとめ、国際会議等で日本の取り組みを発信します。 ・北九州市とよく相談しながら、若松区などにおける地域振興策の着実な支援や、跡地の有効利用の検討を進めてまいります。

令和4、5年度の処理イメージ



安定器・汚染物等の処理計画(案)

(単位:トン)

処理対象物	令和4年度 処理計画量	令和4年第1四半期	令和4年第2四半期	令和4年第3四半期	令和4年第4四半期
安定器	852	95	267	250	240
汚染物等	99	11	31	29	28
全体	951	106	298	279	268
処理対象物	令和5年度 処理計画量	令和5年第1四半期	令和5年第2四半期	令和5年第3四半期	令和5年第4四半期
安定器	366	151	144	71	0
汚染物等	50	21	20	9	0
全体	416	172	164	80	0

※ 重量には缶重量を含む

※ 令和4年度、5年度の2年間で汚染物(PCB油がしみ込んだ汚泥等)を無害化処理するため、年間の処理能力を約950トンと見込んでいる。